

# 人生の最終章を迎え “命の本質を全うするために”

日本が世界に先駆けて男女共世界一の長命国となって久しいが、その実体は亡くなるまでの健康寿命は病気を抱えたまま寝たきり又は認知症など不健康な年数は男性9年、女性12年となっており、生きていることがつらい長命であって、長寿とは言えない社会となっています。今後更に超高齢化が進む中、それ等高齢者を支える財政や労働力が限界に達しつつあり、更に追い討ちをかける少子化による労働力不足で経済成長率がマイナスになればまさに老人地獄、姥捨て山、檜山伏考にならないとも限りません。これ等の問題解決への決め手は何か、講演とパネルディスカッションで有効な対策を探ります。

- なぜ:日本の施設では寝たきりの老人が多いのか
- なぜ:健康寿命長寿社会になれないのか?
- なぜ:無理に生かし続けなければいけないのか?
- なぜ:相変わらず検査・薬漬け医療に頼るのか?
- なぜ:在宅死ではなく病院で死を迎えるのか?
- なぜ:若い人達が自殺、殺人、傷害を引き起こすのか?

日時 : 9月3日(土) 12:30受付 午後1時~5時

## 第一部 プログラム

13:00 総合司会 阪田浩子 国家ビジョン研究会教育委員会副会長  
主催者挨拶 中西真彦 (一社)国家ビジョン研究会 代表理事  
基調講演 『平穩死のすすめ』  
石飛幸三 世田谷区特別養護老人芦花ホーム



石飛 幸三



長谷川ひろ子

第二部 映画 『いきたひ』 長谷川ひろ子監督 解説



13:50 映画 (休憩)

## 第三部 パネルディスカッション

15:10  
パネリスト  
佐野 潔 (米国財団法人野口医学研究所理事長)  
ヒューマニティ医療と欧米の老人医療・介護  
永田勝太郎 (財団法人国際全人医療研究所理事長)  
全人的医療 納得のゆく死にぞまとは  
太田 秀樹 (医療法人アスミス理事長)  
在宅医療と地域包括ケアの実現  
渡邊 昌 (公益社団法人生命科学振興会理事長)  
高齢者の食事と健康寿命の実現



佐野 潔



永田勝太郎



太田秀樹



渡邊 昌

コーディネーター 盛 宮喜 (元日経メディカル編集長)

17:00 閉会

## 会場 慶応義塾大学医学部東校舎講堂

(東京都新宿区信濃町35)

JR総武線「信濃町」歩5分

・参加費 3,000円/おひとり

お名前	メールアドレス
所属先	電話番号
このシンポジウムを知ったのは? ○をつけてください。	
① ( ) 紹介者名 ( ) ② ( ) 国ビ研事務局のメール	
③ ( ) ホームページ	④ ( ) NPOイーマ